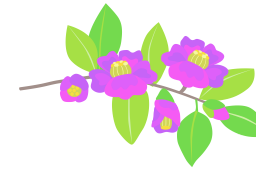
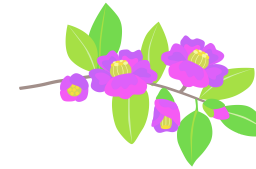
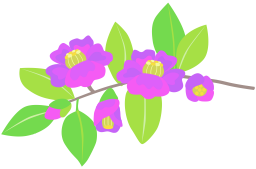


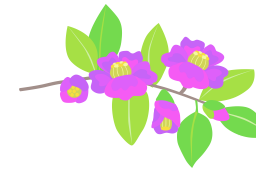
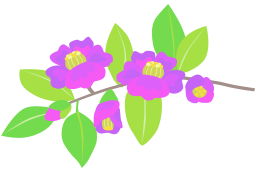
椿地区地域計画



豊かな自然に囲まれ
交通機関の充実した
安心で安全な
人のつながりが深い
まちを目指します。



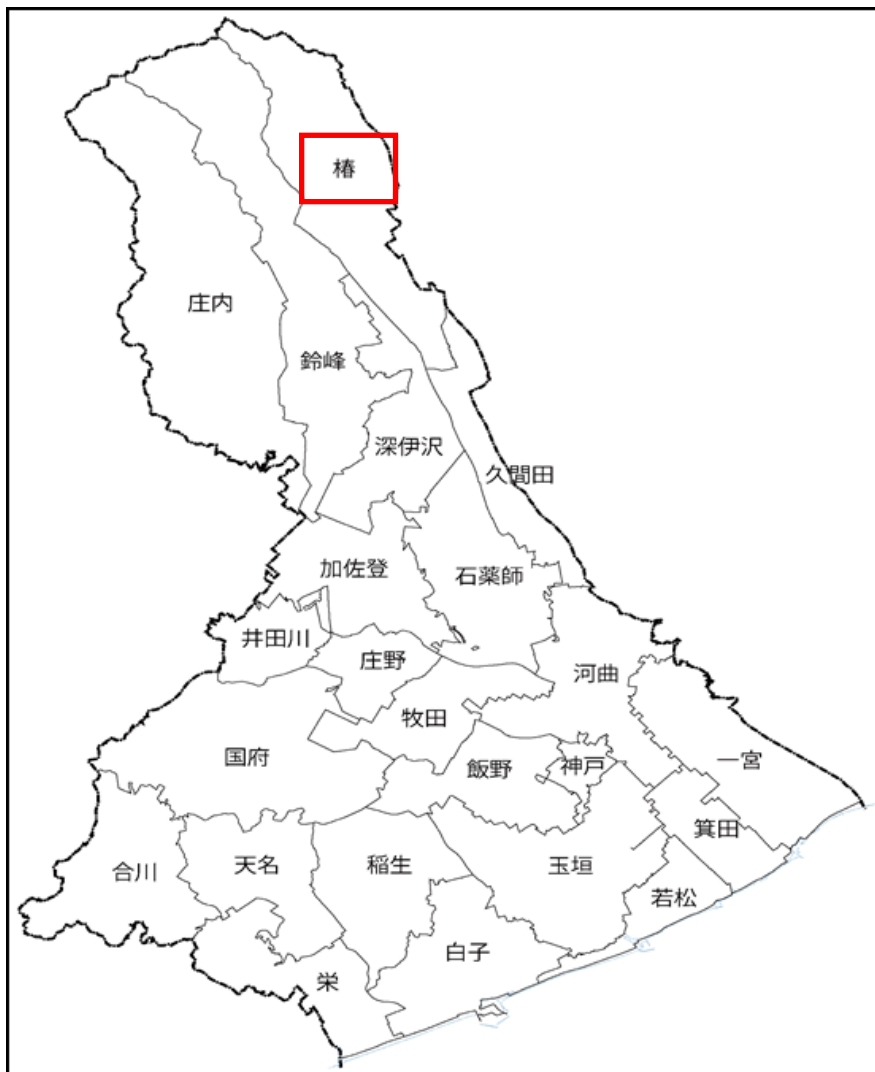
2025年4月



椿地区まちづくり協議会

1. 椿地区の姿

(1) 地区の現状と人口



椿地区は鈴鹿市の北西に位置し四日市市に隣接した地域です。

主な農産物はお茶で、地区内は茶畑が広がっています。

椿大神社、入道ヶ岳登山道といった伝統と自然の調和した観光名所があります。

新名神の鈴鹿スマートインターチェンジ、サービスエリアのピット鈴鹿が出来て、交通量が増えました。さらに工業団地も造成され交通環境が大きく変わろうとしています。

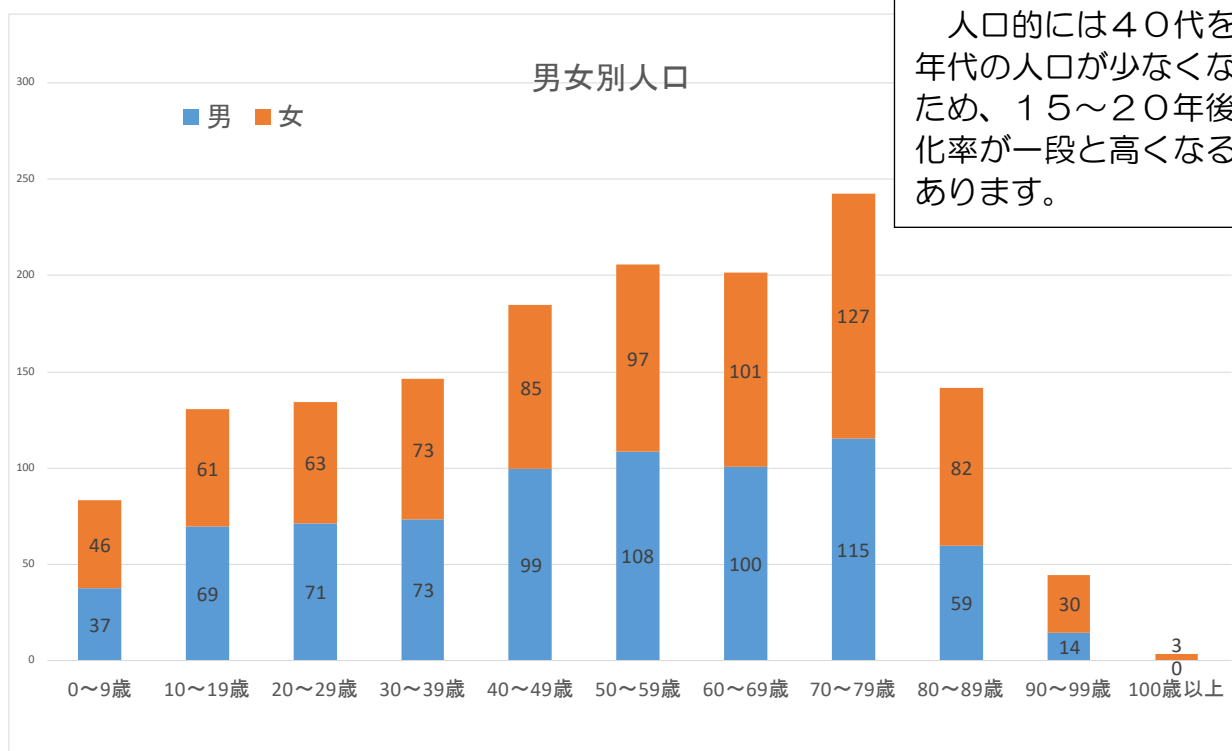
◇世帯数(広報配布数)

440 世帯

◇人 □

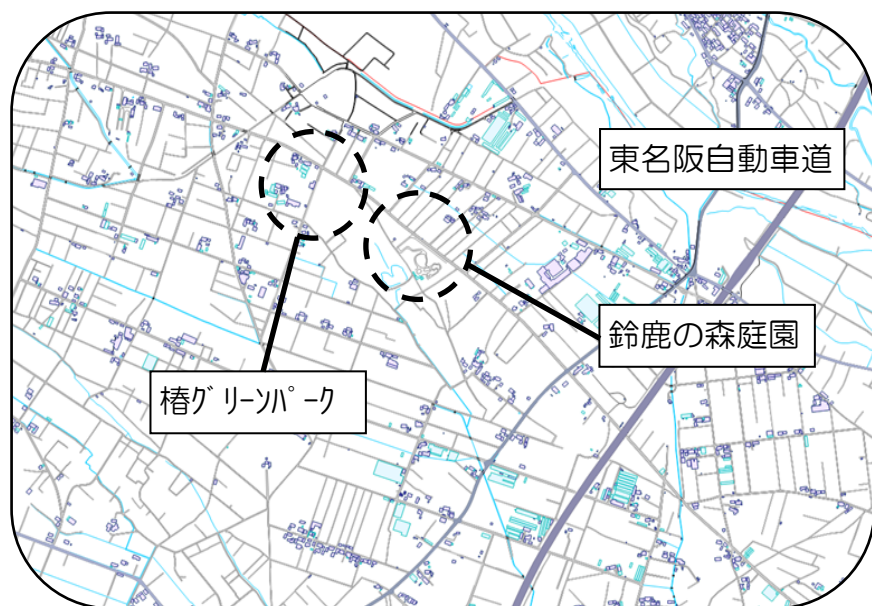
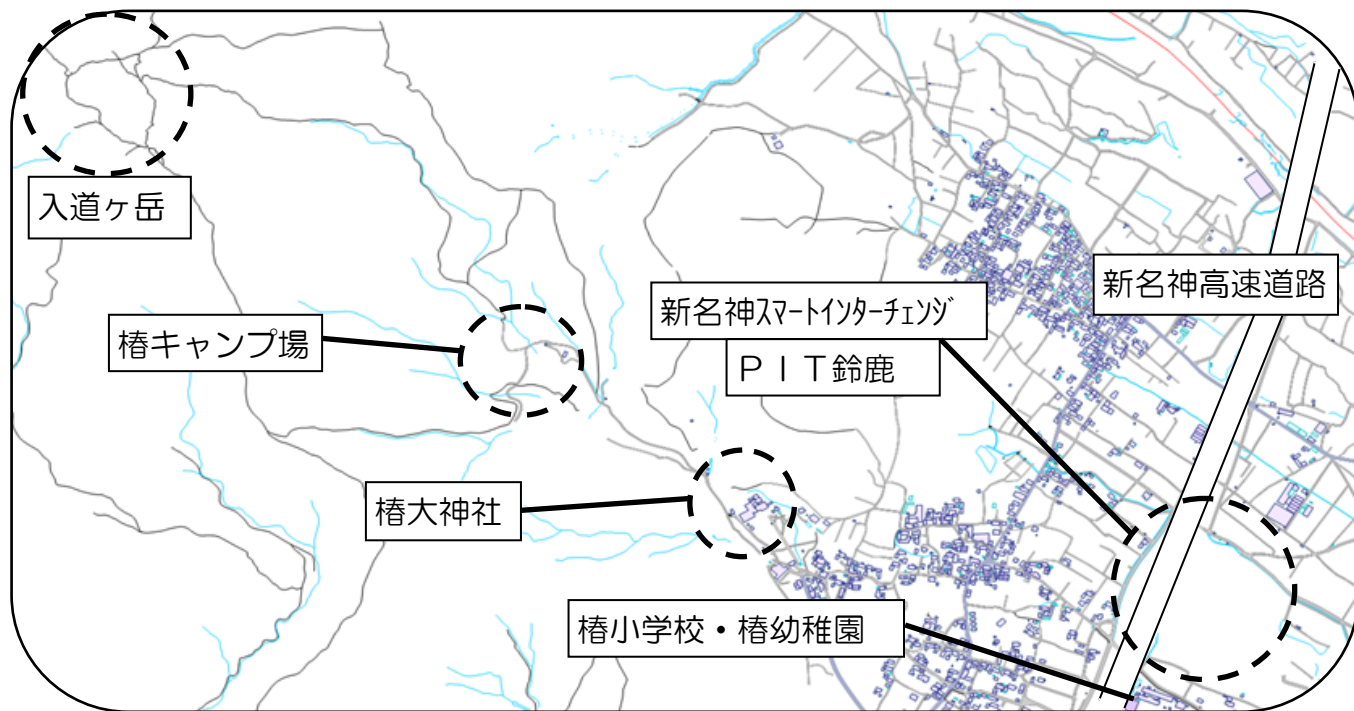
1,513人

※R5年3月末現在



人口的には40代を境に若い年代の人口が少なくなっているため、15～20年後には高齢化率が一段と高くなるおそれがあります。

(2) 地域の主な資源



名 称	内 容
入道ヶ岳	鈴鹿セブンマウンテンの一つで初心者からベテランまで登山が楽しめます。
椿溪谷キャンプ場	入道ヶ岳登山道の入り口にあり登山が楽しめます。
椿大神社	猿田彦大神を祀る全国約二千社の本宮で、参拝者は三重県で3番目です。
ピット鈴鹿	新名神開通に伴い開店したサービスエリア、近隣の土産物やF1の展示も有り。
鈴鹿の森庭園	しだれ梅の名木が約200本有り、仕立て技術の存続と普及が目的です。
お茶の生産	お茶の生産量全国3位の三重県内で四日市、亀山市と並び主産地となっています。
植木の生産	鈴鹿市は、さつき、つつじの生産量が全国1位となっています。
椿グリーンパーク	地区の物産や季節の植物が楽しめます。

(3) 地域の宝物と課題 (R1年開催のワークショップから抜粋)

地域の課題

地域の宝物

自然をいかしきれていない

自然環境

自然、空気、水
景観、きれいな水

学区の違いで交流が少ない
子どもが少ない
住民間の挨拶が少ない

人のつながり

地域の絆
人と人の繋がり
人と人との強い絆がある
多様な行事に住民が協力的

商業に不向きな立地
調整区域
病院を始めとする公共施設
が少ない

伝統行事
観光資源

交流の場が多い
伝統行事が続いている
多様な行事
鈴鹿市が誇る椿大神社
神社を主体とした観光資源

防犯面が心配
災害・犯罪への意識が低い
災害の備えが乏しい
取り組みが足りない

安全安心

安心して安全に暮らせる

公共交通機関が少ない
交通サービスの不足
道がせまい
買い物に行くのが遠い
高齢者と子どもの交通の
便が悪い
高齢者の生活支援

交通問題

高速道路へのアクセスが良い
鈴鹿スマートインター・パーキングエリアの
開設
新名神活用による地域経済への
期待

空き家・耕作放棄地
獣害が多い
獣害で農業が成り立たない

農業問題

大切な農業
特産品がある
(お茶、さつき)

少子高齢化、人口減少
行事の担い手不足

人口減少
少子高齢化

子どもは宝

◇地域振興部会◇

1. R4年以降の課題のまとめ

地域の人との関わりが少なくなっている

2. 地域づくりの基本目標

みんなが楽しく暮らし、地域の絆を深めよう

3. 基本目標達成に向けて

地域の状況に寄り添った事業展開を検討する

みんなが楽しく暮らせるまちを目指して、イベントなどを通じて地域の絆を深めていく。

◇防災安全部会◇

1. R4年以降の課題のまとめ

- ・ 災害発生時の対応をどうするか
- ・ 防犯、防災や減災、高齢者・子どもを守る取り組みが弱い

2. 地域づくりの基本目標

地域の一人ひとりの災害時の行動や防犯、交通安全の意識を高めよう

3. 基本目標達成に向けて

災害時の体制作り、防犯、交通安全への意識向上

地震などの災害発生時に備え
地域での体制を検討していく。
地域住民一人ひとりの防災・減
災、防犯、交通安全への意識を
高める活動を実施する。

◇福祉部会◇

1. R4年以降の課題のまとめ

- ・高齢者が増加している
- ・高齢者が昼間に一人で過ごしている

2. 地域づくりの基本目標

地域の誰もが支えあい、安心して生活できるまち

3. 基本目標達成に向けて

地域の誰もが支えあい、安心して生活できるまちづくりを目指す

地域の誰もが支えあい、安心して生活できるまちを目指して、みんなで一緒に課題解決に向けて活動に取り組んでいく。